

平成23年度 「奈良市21健康づくり」推進評価委員会	
開催日時	平成24年3月2日（金）午後2時から4時まで
開催場所	はぐくみセンター（奈良市保健所・教育総合センター）9階会議室
議 題	1. 奈良市21健康づくり計画の最終評価の検討及び意見交換。 2. 次期計画に向けての報告。
出席者	奈良市21健康づくり推進評価委員9人 事務局11人
開催形態	公開（傍聴人なし）
担当課	保健所健康増進課
議事の内容	
<p>1. 開会</p> <p>2. 委員紹介</p> <p>3. 副会長の選任</p> <p>4. 議事</p> <p>（1）奈良市21健康づくり計画及び最終評価の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民と協同で策定した経緯や計画の位置づけ等、計画の振り返りを行い、指標評価と取り組み評価を用いた最終評価の方法について説明した。 <p>（2）奈良市の現状について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定からの奈良市の状況の変化、取り組みの状況、健康を表す指標の変化について説明した。 <p>（3）評価および取り組みについて（意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価：健康指標など数値で表しているが、数字で評価することは困難な部分がある。評価方法など工夫をしていくことが必要。 ・運動：学童期の体力低下が認められるが、成人の運動習慣は年齢が高くなるほど定着している。学童期には生涯通じて体力向上に興味関心がもてるよう取り組みを推進していく必要がある。成人では、運動習慣づくり推進員協議会や生涯学習財団の取り組みからも、運動ができる機会が増えている。 ・栄養：食生活改善推進員協議会や栄養士会、生涯学習財団の取り組みより、地域で活動する機会が増えている。今後は外食に対しての働き掛けが必要。 ・喫煙：小・中学生の頃からの教育が重要。教育委員会を通じての啓発を行っている。 ・妊娠と性：助産師会が学校での性教育を実施している。10代の妊娠・未婚の妊娠についても小さい時期からの性教育が必要 ・事故：乳幼児期の事故予防に対しては、家庭訪問を通して注意を促している。 ・心の健康（高齢者）：健康や運動についての関心が市民の中で広がっており、活動の場が増えている。 ・飲酒：若い人の飲酒は減ってきているが、学童期や学生の時代からタバコと合わせて「薬物の入り口」という意識づけが重要。 ・歯：改善が見られている領域。自分で確認ができるため、取り組みやすい。 ●頂いた意見を用いて最終報告書を作成する。来年度に評価委員会を再度開催することに決定する。 <p>5. 今後について（報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期計画について国の状況を交え説明した。 <p>6. 閉会</p>	